



こんにちは

No.45 2011.8.14

文京区議会議員

37歳

日本共産党

金子てるよし です

JCP 文京 青年・雇用・子育て相談室長



連絡先

小竹ひろ子事務所 文京区白山 1-26-18 桜井ビル 2階

☎3815-9301

日本共産党文京区議団控室 文京区春日 1-26-21 区役所内

☎5803-1317

石巻からの報告

津波以来、手付かずの基地で
漂流物の撤去作業を行う

五日、六日の二日間、再び石巻へ行き、救援活動を行ってきました。食品や衣類、カンパ等を提供して下さった皆様に感謝申し上げます。文京地区委員会として三度目の支援活動では、石巻市門脇の西光寺墓地での瓦礫や漂着物の撤去作業に取り組みました。墓石が散乱した上、カロート(屍櫃)がむき出しになった墓地には日本製紙の工場から津波でパルプの原材料が流れつき、ヘドロもたまっていきます。石巻市の中心市街地を襲った津波が住宅などを襲い、す



(写真文京の他、千代田、中央地区などからのボランティア五〇名程が袋詰めを行う。)

べてを破壊しつくし、山際の墓地に繰り返し打ち付けたものと思われま



国府田区議 萬立区議 小竹前都議
へと土嚢を渡して搬出しました。

六月に支援活動に参加した時に行われていた自衛隊やダンプカーが頻繁に動いての瓦礫の撤去作業は、現在行われていません。重機の使用が難しい墓地の片付け作業を「何とかしたい」と寺側から党の支援センターに依頼があり、のべ千人がこの作業に参加したそうです。このように、通り一辺倒の支援では手の届かない課題が沢山あることを痛感しました。

89周年 日本共産党創立記念講演
「危機をのりこえて新しい日本を」

大学生の感想を
紹介します

日本共産党は七月一五日に創立八十九周年を迎え、志位委員長が記念講演を行いました。一緒に聴きに参加した大学生の感想を紹介します。

今回の大震災での党員の救援活動の様子を聞き、「国民の苦難軽減」という立党の精神に誇りを感じました。原発をめぐる問題や国の進める被災地復興方針には党の綱領が示す日本社会の大企業中心・アメリカ力言いなりという「二つの異常」がよく現れていて、政治の根本を変えなければならぬと感じました。「国民の中で起きた変化が自動的に改革へ繋がるわけではない」と志位さんが最

後に話していましたが、政治を変えるために世論の変化に寄り添い、党を大きくして欲しいと思いました。志位さんを生で拝見できたことが嬉しかったです！戦前に党が弾圧された中でも、命がけて三陸津波の被災者救援を行ったことや、原発反対の一貫した態度など、日本共産党は国民の思いに添った党だと感じました。党が目指す日本の姿を見たいです！

◎ちよっと寄り道 (4)

広島に原爆が投下された八月六日、首相は平和記念式典で「究極的な核廃絶」と主張しました。近年使われなくなつたこの言葉は核兵器廃絶を永久に先送りするもので被爆者の願いを否定するものです。

原爆投下の日に行われてきた文京の「69行動」の宣伝が今月、二百回目を迎えました。コツコツと継続してきた先輩方に敬意を表します。そしてこれからも続けてゆきたい。

